

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Atsushi ITOH

GAU:

SERIAL NO: New Application

EXAMINER:

FILED: Herewith

FOR: DISPLAY DEVICE



REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS  
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
Japan	2000-125622	April 26, 2000

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .  
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and  
(B) Application Serial No.(s)
- ☐ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,  
MAIER & NEUSTADT, P.C.

C. Irvin McClelland  
Registration No. 21,124



22850

日本国特許庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

#2 Priority  
DPA: 1/6/01  
8-1-01

1c903 U.S. PTO  
09/824769  
04/04/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2000年 4月26日

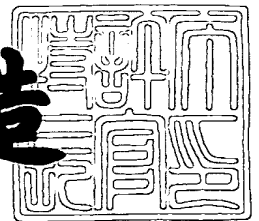
出願番号  
Application Number: 特願2000-125622

出願人  
Applicant(s): 株式会社アドバンスト・ディスプレイ

2000年12月 1日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3098142

【書類名】 特許願

【整理番号】 A199030509

【提出日】 平成12年 4月26日

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦 殿

【国際特許分類】 G02F 1/1333

【発明者】

    【住所又は居所】 熊本県菊池郡西合志町御代志 9 9 7 番地 株式会社アド  
                                バンスト・ディスプレイ内

    【氏名】 伊藤 敦史

【特許出願人】

    【識別番号】 595059056

    【氏名又は名称】 株式会社アドバンスト・ディスプレイ

【代理人】

    【識別番号】 100065226

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 朝日奈 宗太

    【電話番号】 06-6943-8922

【選任した代理人】

    【識別番号】 100098257

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 佐木 啓二

【選任した代理人】

    【識別番号】 100115819

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 川瀬 裕之

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 001627

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0004451

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 表示装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 平面型の表示部と、該表示部を外部信号によって駆動する電子部品と、前記表示部および電子部品を所定の位置に固定する機構部品とを備えてなる表示装置であって、前記機構部品が少なくとも薄い金属部品からなり、かつ該金属部品にナットをかしめにより取り付けてなること、または該金属部品に直接ねじ切り加工を施してなることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】 前記薄い金属部品に取り付けられたナットのねじ挿入部が、表示装置の外面に露出している請求項 1 記載の表示装置。

【請求項 3】 前記ナットが外部装置に該表示装置を所定の位置に取り付けることを目的に設置されている請求項 1 または 2 記載の表示装置。

【請求項 4】 前記ナットが所定の付属部品を該表示装置に取り付けることを目的に設置されている請求項 1 または 2 記載の表示装置。

【請求項 5】 前記付属部品が表示装置の側面に取り付けられている請求項 4 記載の表示装置。

【請求項 6】 前記付属部品が表示装置の裏面に取り付けられている請求項 4 記載の表示装置。

【請求項 7】 前記付属部品が該表示装置の機能に關与する電気回路部品である請求項 5 または 6 記載の表示装置。

【請求項 8】 前記ナットが前記薄い金属部品の側面に取り付けられている請求項 1 記載の表示装置。

【請求項 9】 前記ナットの表示装置内面側の端部の一部に他の部材に対する逃げ加工が施されている請求項 8 記載の表示装置。

【請求項 10】 前記ナットの表示装置内面側の端部の加工が面取り加工である請求項 9 記載の表示装置。

【請求項 11】 前記ナットの表示装置内面側の端部の加工が R 加工である請求項 9 記載の表示装置。

【請求項 12】 前記ナットの表示装置内面側の端部の加工が 2 段加工であ

る請求項 9 記載の表示装置。

【請求項 1 3】 前記表示部が、液晶の複屈折性を利用して画像の表示を行なう請求項 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11 または 12 記載の表示装置。

【請求項 1 4】 前記表示部の背面から光を照射するように配置された照射部を備え、前記薄い金属部材が前記照射部と平面型表示部を支持する請求項 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11 または 12 記載の表示装置。

【請求項 1 5】 前記表示部が、プラズマ発光を用いて表示を行なう請求項 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11 または 12 記載の表示装置。

【請求項 1 6】 前記表示部が、エレクトロルミネッセンスを用いて表示を行なう請求項 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11 または 12 記載の表示装置。

【請求項 1 7】 前記表示部が、アレイ上に配置された微細な画素と、これらの各画素に対応して配置された電子銃によって構成されている請求項 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11 または 12 記載の表示装置。

【請求項 1 8】 前記表示部が、アレイ上に配置された微細な光学的反射鏡によって構成されている請求項 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11 または 12 記載の表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は表示装置に関する。さらに詳しくは、画像および文字を表示する平面型の表示装置に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来より、画像および文字を表示する平面型の表示装置としては、液晶の複屈折性を用いたもの、エレクトロルミネッセンスを用いたもの、プラズマ発光を用いたもの、微細な電子銃を画素に対応する数だけアレイ上に配置したもの、または微細な光学的反射鏡を画素に対応する数だけアレイ上に配置したものなどが商

品化されているが、現在、液晶を用いたものが広く実用化されている。ここでは、液晶の複屈折性を応用した液晶表示装置について説明する。

#### 【0003】

かかる液晶表示装置としては、2枚の対向する基板のあいだに液晶材料が挟持された液晶パネルと、その液晶パネルを駆動する駆動回路部と、液晶パネルの背面に配設される照明装置と、前記液晶パネル、駆動回路部および照明装置を所定の位置関係に保つための機構部材とから構成されるものがある。また表示装置には、たとえば低コスト化および小型軽量化などの目的により、前記照明装置に代えて、外部から入射した光を反射するシートを利用する反射型表示装置もある。

#### 【0004】

前記機構部材は、主に合成樹脂と金属を用いて形成されており、一般に液晶表示装置を所定の位置へ取り付けするための構造が形成されている。取り付けられる部材側にねじを締結する構造がある場合、液晶表示装置にはねじ孔が形成されるのみであるが、取り付けられる部材側にねじを締結する構造がない場合には、液晶表示装置側にナットなどを作製してねじの締結を可能としている。

#### 【0005】

液晶表示装置が多く用いられているノートブック型パーソナルコンピュータの場合を例に説明すると、液晶表示部の最外周である筐体は多くの場合、合成樹脂により形成されている。近年の液晶表示画面の拡大に伴い液晶表示装置を、この合成樹脂筐体に取り付けるスペースは縮小している。そのため、ナットなどのねじ締結構造は薄型、狭額縁の液晶表示装置においては液晶表示装置側に作製される場合が多い。

#### 【0006】

また、ノートブック型パーソナルコンピュータの場合、液晶表示装置だけがこの合成樹脂筐体に取り付けられるのではなく、同時に1つ以上の回路部材も合成樹脂筐体に取り付けられる。

#### 【0007】

つぎにノートブック型パーソナルコンピュータに多用される液晶表示装置について説明する。図8～10は従来の液晶表示装置の構造を示す図であり、図8は

平面図であり、図 9 は側面図であり、図 1 0 は図 8 の A - A 線断面の拡大図である。液晶表示装置は、一般的に液晶パネル 3、正面輝度の向上および表示品位の向上を目的とする光学シート 6、液晶表示面内に均一に光を導く導光板 5、表示側面へ光を多く出射するための反射シート 4、光学シート 6、導光板 5 および反射シート 4 などを保持する樹脂フレーム 1 およびこれらすべてを保持する薄い金属フレーム 2 からなる。液晶パネル 3 は非発光のデバイスであるため、反射シート 4 などの部材が必要であり、これらをまとめてバックライトと呼んでいる。

#### 【 0 0 0 8 】

従来の液晶表示装置では、平面方向、厚さ方向の寸法に余裕があり、液晶表示装置にねじ締結機構を作製する方法も様々ある。その一例として、図 1 0 に示すようにナット 7 をインサートナットやアウトサートナットとして液晶表示装置の樹脂フレーム 1 に埋め込む方法が従来多く採られている。

#### 【 0 0 0 9 】

##### 【発明が解決しようとする課題】

これらのナット 7 を樹脂フレーム 1 に埋め込み、十分な強度をもたせるためには、そのナット 7 を埋め込む下孔の周囲に十分な樹脂があることが前提となる。しかし、近年の液晶表示装置の急速な発展に伴い、さらなる薄肉化、狭額縁化が求められ、その結果、ナット 7 を樹脂フレーム 1 に埋め込むことができなくなった。一例として M 2 のねじを用いるためにはナット 7 として  $\phi 4 \text{ mm}$  程度のものが必要であるが、液晶表示装置全体の厚さが 6 mm 前後を要求された場合、樹脂フレーム 1 の厚さはナット 7 外形と同じ 4 mm 程度となり、従来のように樹脂フレーム 1 中にナット 7 を埋め込むことができない。

#### 【 0 0 1 0 】

金属フレーム 2 に溶接によりナットを取り付けることもできるが、価格の上昇を招くとともに著しく生産性を低下させることになる。

#### 【 0 0 1 1 】

また、従来のノートブック型コンピュータでは、図 1 1 に示したようなインバータ基板 1 1 などの付属部品を合成樹脂筐体 1 0 に液晶表示装置とは別に固定している。液晶表示部とコンピュータの最外形に近い最近のディスプレイでは液晶



表示装置を合成樹脂筐体 10 に取り付けただけではインバータ基板 11 などの部品を取り付けるスペースが小さく、取り付け作業が困難となる。さらに複数の電子部品を合成樹脂筐体 10 内に取り付けようとするれば配線などの作業がきわめて困難となり、生産性が低下する。なお、9 は液晶表示部の前面の合成樹脂筐体であり、12 は FPC である。

#### 【0012】

本発明は、叙上の事情に鑑み、従来に比べて大幅に作業性を改善することができるとともに、多くの部品を取り付けることができる表示装置を提供することを目的とする。

#### 【0013】

##### 【課題を解決するための手段】

本発明の表示装置は、平面型の表示部と、該表示部を外部信号によって駆動する電子部品と、前記表示部および電子部品を所定の位置に固定する機構部品とを備えてなる表示装置であって、前記機構部品が少なくとも薄い金属部品からなり、かつ該金属部品にナットをかしめにより取り付けてなること、または該金属部品に直接ねじ切り加工を施してなることを特徴とする。

#### 【0014】

##### 【発明の実施の形態】

##### 実施の形態 1

図 1 ～ 3 は本発明の実施の形態 1 にかかわる液晶表示装置の構造を示す図であり、図 1 は平面図であり、図 2 は側面図であり、図 3 は図 1 の I - I 線断面の拡大図である。

#### 【0015】

図において、1 は表示装置の構成部材を所定の位置関係に固定する機構部材である合成樹脂フレーム、2 は薄い金属で形成された機構部材である金属フレーム、3 は平面型の表示部を構成する液晶パネル、4 は表示面側へ光を反射し、輝度を高めるための反射シート、5 はランプから発せられた光を表示領域全体に伝播し、表示面全体を一様に照らすよう形成された透明性樹脂材料よりなる導光板、6 は光学シートであり、前記表示部 3 は電子部品を介して外部信号によって駆動

させることができる。また、7は液晶表示装置に対し、ねじの締結を可能とするナットであり、薄い金属フレーム2へかしめにより取り付けられている。

【0016】

本発明においては、前記金属部品に直接ねじ切り加工を施してナットを取り付けることができるが、本実施の形態では、薄い金属フレーム2にバーリング加工を施すのに比べて、ねじ山の数を多くすることができるとともに、薄い金属であっても安定的なねじの締結を行なうことができる。

【0017】

実施に際しては、かしめにより取り付けられたナット7がねじ締結の際に空転しないようにするのが好ましい。本実施の形態では、ナット7を取り付ける金属フレーム2の下孔2aを真円としないことにより、かしめを行なう際に、ナット7が下孔2aの形状に変形し空転を防ぐようにしている。しかし、ナット7が空転しないことが目的であり、これ以外の方法によりナット7の空転を防ぐこともできる。

【0018】

したがって、本発明においては、画像を表示する表示部と、表示部を支持するように構成された機構部材を備え、機構部材は少なくとも薄い金属よりなる金属フレームを有しており、該薄い金属フレームにかしめによりナットを取り付けるか、または直接金属にねじ切り加工することで、応用範囲の広いねじ締結ができる。

【0019】

なお、本実施の形態では、ナット7を液晶表示装置における金属フレーム2の側面にかしめにより取り付けしたが、金属フレーム2の先端を略直角に曲げて液晶表示装置から外側へ延長し、そこにナット7を取り付けてもよい。この場合のねじ締結方向は本実施の形態とは略直角方向となり、液晶表示装置の表示側面側または裏面よりねじの締結をすることができる。すなわち、前記薄い金属部品に取り付けられたナットのねじ挿入部は、表示装置の外面に露出するようにする。

【0020】

また、本実施の形態では、前記表示部が液晶の複屈折性を利用して画像の表示

を行なうもの、背面から光を照射するように配置された照射部(照射装置)を備え、前記薄い金属部材が前記照射部と平面型表示部を支持するもの、プラズマ発光を用いて表示を行なうもの、エレクトロルミネッセンスを用いて表示を行なうもの、アレイ上に配置された微細な画素と、これらの各画素に対応して配置された電子銃によって構成されているもの、またはアレイ上に配置された微細な光学的反射鏡によって構成されているものなどとすることができる。

## 【 0 0 2 1 】

## 実施の形態 2

図 4 は本発明の実施の形態 2 にかかわるノートブック型パーソナルコンピュータの液晶表示部の要部分解斜視図である。本実施の形態 2 にかかわるノートブック型パーソナルコンピュータは、図 1 1 に示されるように、液晶表示装置 8、パーソナルコンピュータの液晶表示部前面の合成樹脂筐体 9、同じく背面の合成樹脂筐体 1 0、液晶表示装置内のランプを駆動するためのインバータ基板 1 1、液晶表示装置に信号を送る F P C (Flexible Printed Circuit) 1 2 を備えている。従来では、インバータ基板 1 1 は液晶表示装置 8 のパーソナルコンピュータ本体との接続方向側面の横長のスペースに収納されるようにしているが、その間隔は非常に小さく、従来のように合成樹脂筐体 1 0 に液晶表示装置を取り付けたのち、インバータ基板 1 1 を取り付け、電氣的に接続させることはきわめて作業性がわるい。

## 【 0 0 2 2 】

そこで、本実施の形態では、図 1 1 の X 部を図 4 に示されるように、予めインバータ基板 1 1 を液晶表示装置 8 にかしめにより設けられたナット 7 にねじ 1 3 を用いて取り付け、そののち合成樹脂筐体 1 0 に取り付けることにより大幅な作業性の向上を図ることができる。このため、より小さな回路基板であっても小さな隙間に複数配置することができ、より自由度の高い設計が可能となる。

## 【 0 0 2 3 】

なお、本実施の形態では、液晶表示装置に取り付ける電気回路基板(付属部品)をインバータ回路として説明したが、その他たとえばマイクのような部品でもよい。

## 【 0 0 2 4 】

また、本実施の形態では、液晶表示装置の長辺側側面に回路基板を取り付けたが、その他の側面に取り付けてもよく、また側面でなく裏面に回路基板を取り付けることもできる。また、1側面に部品を取り付ける必要はなく、複数の側面に部品を取り付けることもできる。

## 【 0 0 2 5 】

さらに本実施の形態では、1側面にひとつの部品を取り付けたが、複数の部品を取り付けることもできる。

## 【 0 0 2 6 】

## 実施の形態 3

液晶表示装置に振動および衝撃などにより大きな力が加わった際、液晶パネル 3 は自重により大きく変位する。しかし、実施の形態 1 で示した場合、液晶パネル 3 とナット 7 の隙間が 1 mm 弱であり、液晶パネル 3 が振動および衝撃試験などの状況下で大きく変位した際、液晶パネル 3 がナット 7 の側面に接触し、パネルの割れや欠けを発生させる恐れがある。この対策として、かしめたナット 7 の長さ寸法を短くすることができるが、これではねじのかかる山が減少し、機械的な耐衝撃性能を低下させる恐れがある。

## 【 0 0 2 7 】

そこで、本実施の形態 3 では、ナット 7 の液晶表示側面の端部 7 a を図 5 に示されるように面取りすることにより、液晶パネル 3 とナット 7 との間隔を広くし、衝撃力の印加時に液晶パネル 3 がナット 7 と接触しないようにしている。その結果、これら振動および衝撃試験においてパネルの割れや欠けの問題は発生せず、耐衝撃性を大幅に向上させることができる。

## 【 0 0 2 8 】

本実施の形態では、ナット 7 の端部 7 a を面取りすることにより液晶パネル 3 の端部 3 a との距離を確保しているが、ナット 7 と液晶パネル 3 またはその他の部材との隙間（距離）をねじの山を減らさずに確保することができれば、ナット 7 の端部 7 a の加工は面取りでなくともよい。たとえば図 6 に示されるようにナット 7 の端部 7 a の径を R 加工にし、隙間を増やしてもよい。または図 7 に示さ

れるようにナット 7 の端部 7 a に段差を形成させるために、2 段加工することもある。また、図 5 ～ 7 に示す実施の形態では、前記ナット 7 の端部全周にわたり面取りなどを施しているが、振動および衝撃力の印加時に接触する部材との間隔を取ればよく、接触が予想される部分にのみ加工を施してもよい。

#### 【 0 0 2 9 】

なお、実施の形態 1、2 および 3 では、液晶表示装置について説明したが、本発明は、液晶表示装置に限らず、プラズマ発光を用いたもの、エレクトロルミネッセンスを用いたもの、微細な電子銃を画素に対応した数だけアレイ状に配置したもの、微細な光学的反射鏡を画素に対応した数だけアレイ状に配置したものを含むすべての平面型の画像および文字表示装置に適用することができる。

#### 【 0 0 3 0 】

また、照明装置を必要としない形式のものは、表示パネルを機構部材に直接取り付けることができる。

#### 【 0 0 3 1 】

#### 【発明の効果】

本発明は、以上説明したように構成されているので、以下に示すような効果を奏する。

#### 【 0 0 3 2 】

かしめられたナットまたは直接金属にされたねじ切り加工を介して各種部品を表示装置に取り付けることにより、従来に比べて大幅に作業性を改善することができるとともに、多くの部品を表示装置に取り付けることができる。

#### 【 0 0 3 3 】

また、従来用いられていた樹脂フレームから金属フレームにナットを取り付けることにより、表示装置の薄型化を行なうことができる。とくに本発明における取り付け構造を用いることにより、樹脂フレームがなくても表示装置を固定することができる。また、ナットの表示部側の端部を面取り、R 加工または 2 段加工を施すことにより、耐振動および衝撃性能を備えた表示装置を得ることができる。

#### 【 0 0 3 4 】

さらに、本発明は画像および文字を表示する平面型の表示装置に使用することが可能であり、液晶の偏光作用を用いたもの、エレクトロルミネッセンスを用いたもの、プラズマ発光を用いたもの、微細な電子銃を画素に対応する数だけアレイ上に配置したもの、または微細な光学的反射鏡を画素に対応する数だけアレイ上に配置したものに適用することもできる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施の形態 1 にかかわる液晶表示装置の構造を示す平面図である。

【図 2】

図 1 における液晶表示装置の構造を示す側面図である。

【図 3】

図 1 における I - I 線断面の拡大図である。

【図 4】

本発明の実施の形態 2 にかかわるノートブック型パーソナルコンピュータの液晶表示部の要部分解斜視図である。

【図 5】

本発明の実施の形態 3 にかかわる液晶表示装置の取付け構造の要部断面図である。

【図 6】

図 5 における取付け構造の他の例を示す断面図である。

【図 7】

図 5 における取付け構造のさらに他の例を示す断面図である。

【図 8】

従来の液晶表示装置の構造を示す平面図である。

【図 9】

図 8 における液晶表示装置の構造の側面図である。

【図 10】

図 8 における A - A 線断面の拡大図である。

【図 11】

従来のノートブック型コンピュータの要部分解斜視図である。

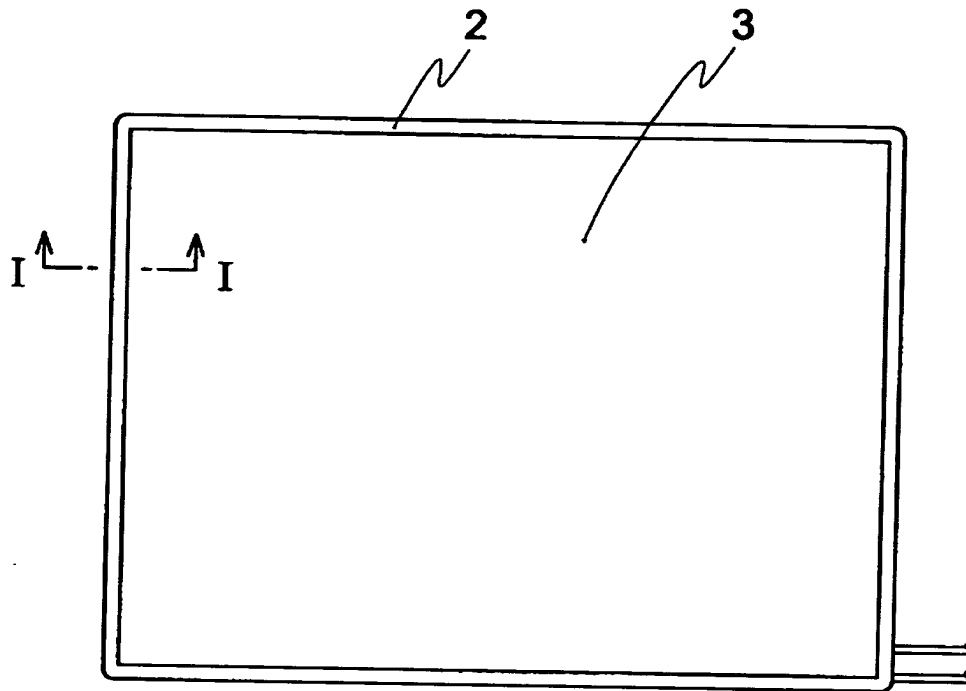
【符号の説明】

- 1 合成樹脂フレーム
- 2 金属フレーム
- 2 a 下孔
- 3 液晶パネル
- 3 a 端部
- 4 反射シート
- 5 導光板
- 6 光学シート
- 7 ナット
- 7 a 端部
- 8 液晶表示装置
- 9 合成樹脂筐体（前面）
- 1 0 合成樹脂筐体（背面）
- 1 1 インバータ基板
- 1 2 F P C
- 1 3 ねじ

【書類名】

図面

【図 1】

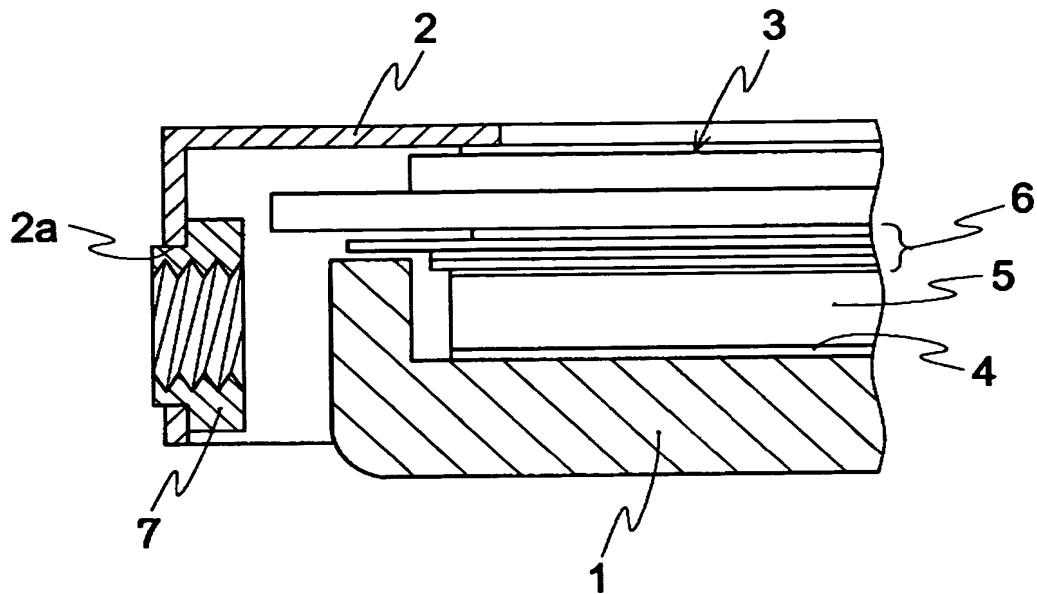


【図 2】

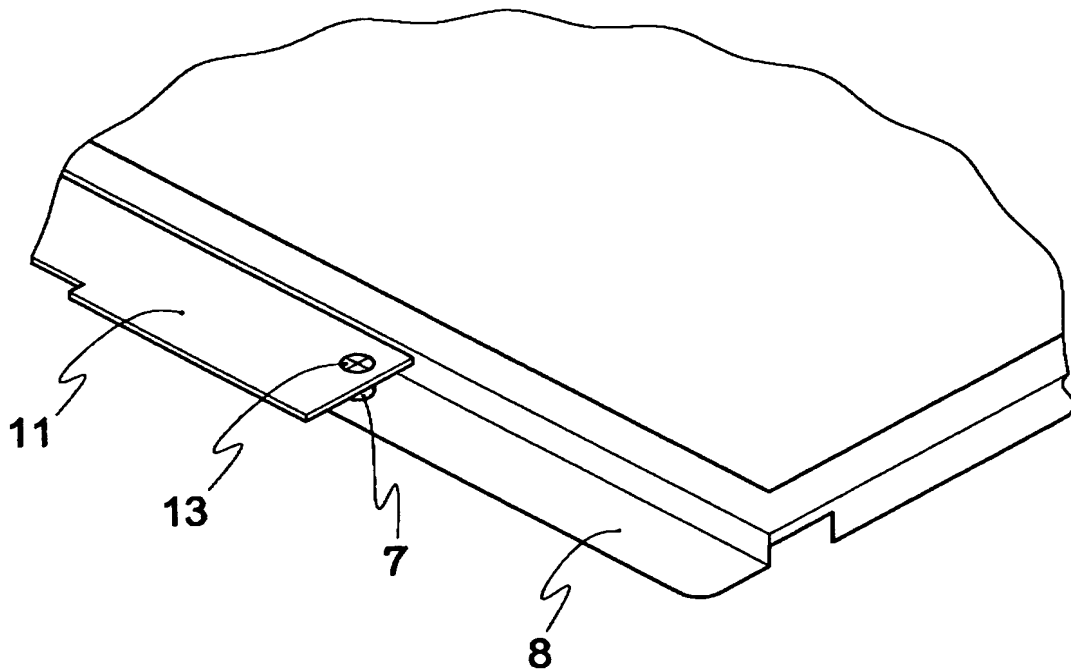




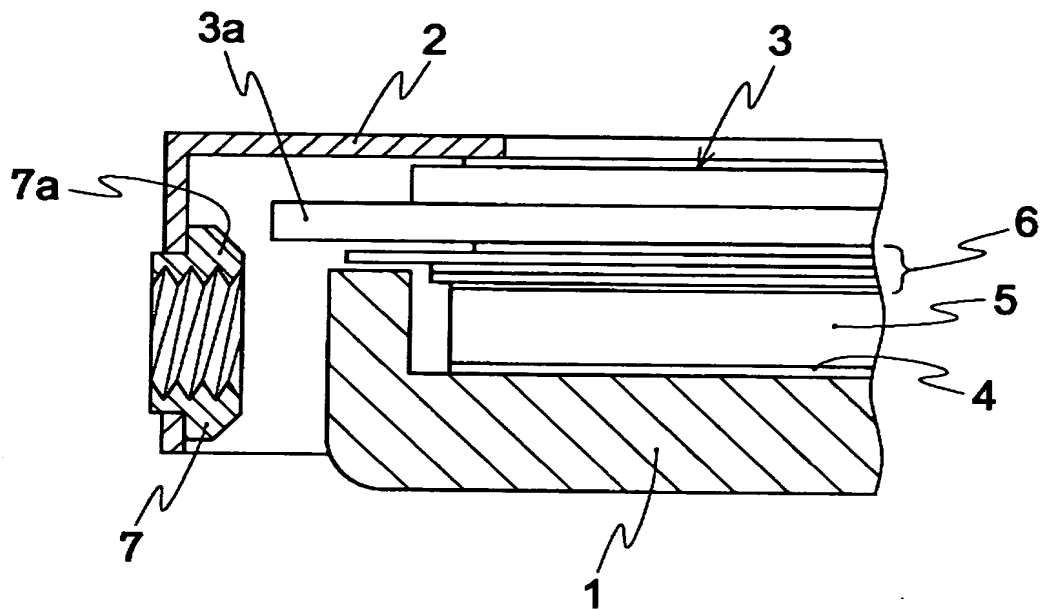
【図3】



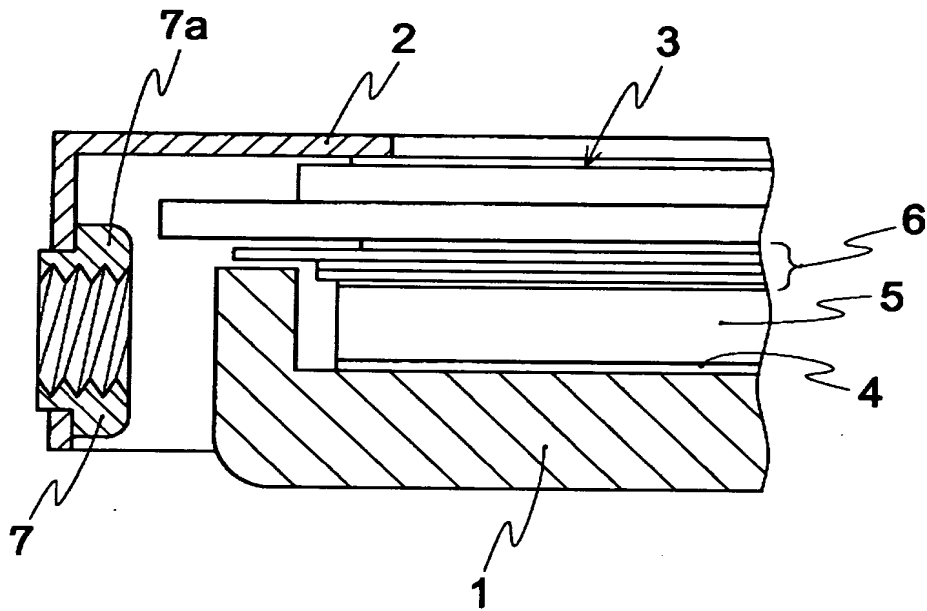
【図4】



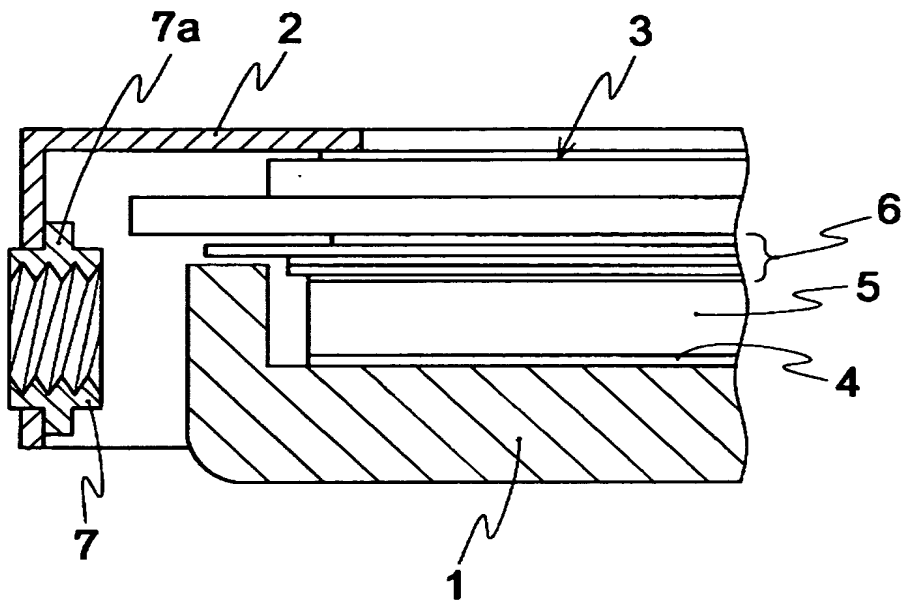
【図 5】



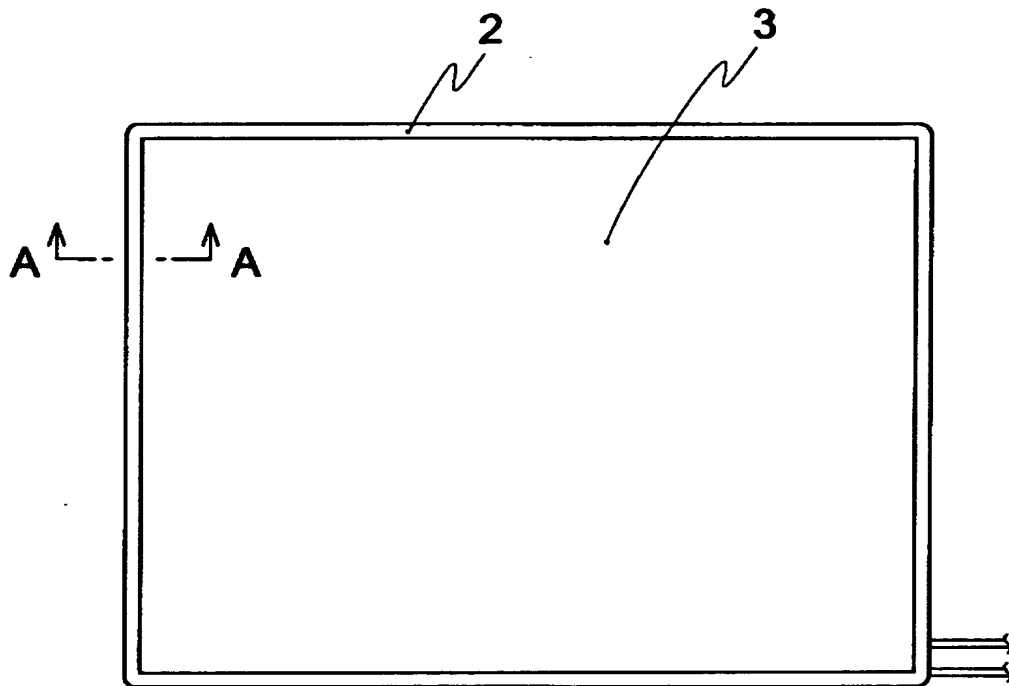
【図 6】



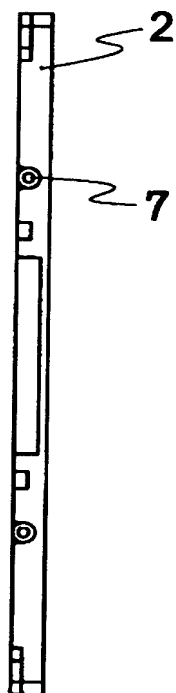
【図7】



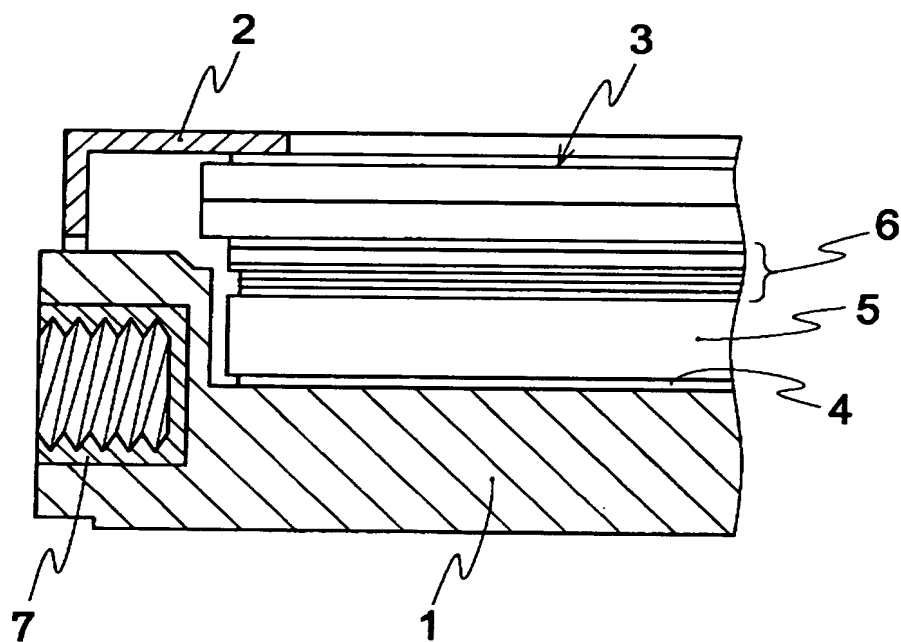
【図8】



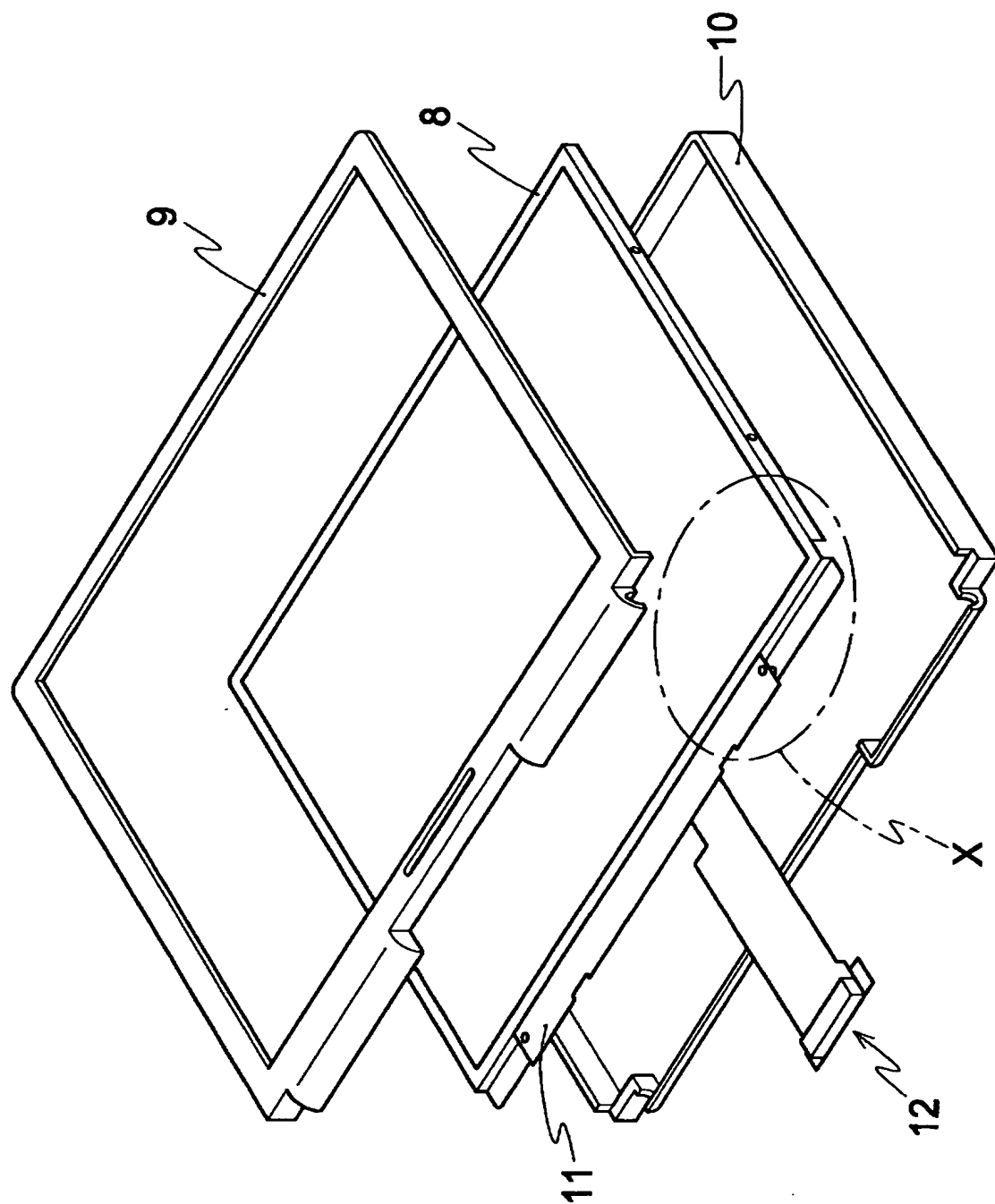
【図9】



【図10】



【図 11】



【書類名】            要約書

【要約】

【課題】    従来に比べて大幅に作業性を改善することができるとともに、多くの部品を取り付けることができる表示装置を提供する。

【解決手段】    平面型の表示部と、該表示部を外部信号によって駆動する電子部品と、前記表示部および電子部品を所定の位置に固定する機構部品とを備えてなる表示装置であって、前記機構部品が少なくとも薄い金属部品からなり、かつ該金属部品にナットをかしめにより取り付けてなること、または該金属部品に直接ねじ切り加工を施している。

【選択図】            図 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [595059056]

1. 変更年月日 1995年 4月21日

[変更理由] 新規登録

住 所 熊本県菊池郡西合志町御代志997番地

氏 名 株式会社アドバンスト・ディスプレイ